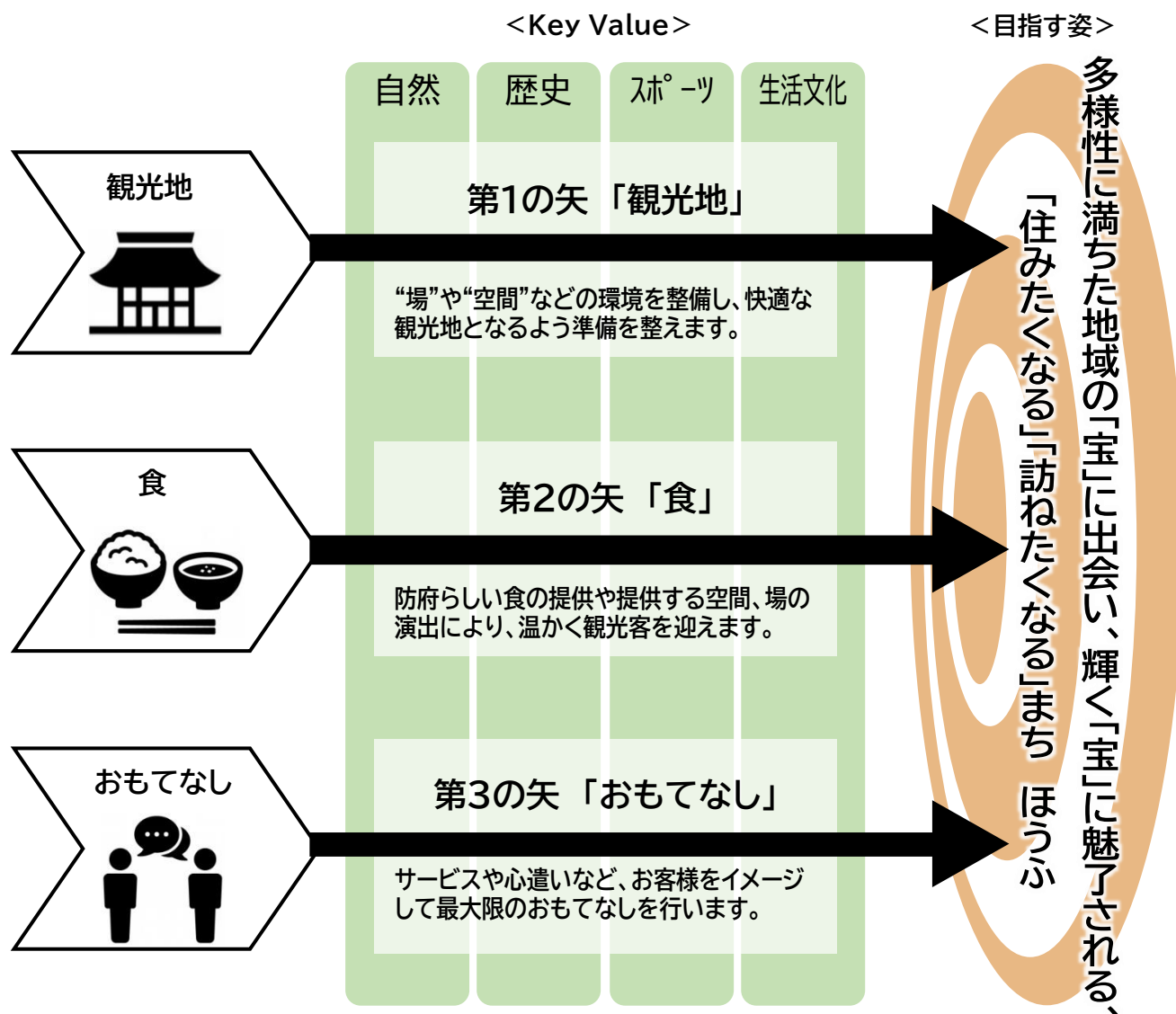


IV 展開する具体的な取組

1 展開方針

本市の観光地域づくりの目指す姿に掲げた『多様性に満ちた地域の「宝」』に出会い、輝く「宝」に魅了される、「住みたくなる」「訪ねたくなる」まち ほうふ』の実現に向け、「防府市を構成する要素(Key Value)」をベースに、この 5 年間では、観光振興の『三本の矢』を展開していきます。



～コラム(三本の矢)～

『三本の矢』とは、毛利元就が三人の子に伝えたと言われる、結束の重要性を説いた逸話です(「三矢の教え」「三本の矢の教え」とも言います)。曰く、矢は1本では簡単に折れるが、3本束ねると折ろうとしても簡単には折れない。同じように一族も結束して強靱に生きよと説く教訓です。

中国地方の戦国大名・毛利元就が1557年(弘治3年)に3人の子(毛利隆元・吉川元春・小早川隆景)に書いた三子教訓状を含む「毛利家文書」は重要文化財に指定されており、毛利家文書405号・毛利元就自筆書状として毛利博物館に収蔵されています。



2 具体的な取組の考え方

本市における観光地域づくりの目指す姿と展開方針に従い、「防府市を構成する要素(Key Value)」ごとに、将来イメージを掲げ、そのイメージを実現していくために、ロードマップ(短期・中期・長期の3つの期間でのステップ)を明確に示します。

このロードマップを具体化するため、「観光振興」と「地域振興」の観点から、施策を展開し、着実に事業推進を図り、『多様性に満ちた地域の「宝」に出会い、輝く「宝」に魅了される、「住みたくなる、訪ねたくなる」まち ほうふ』を目指していきます。

<ロードマップの考え方>

短期 (1～5年後)	・ 新型コロナウイルス感染拡大の影響を強く受けることが想定されるため、現時点で想定できる動向を鑑みた施策を示しています。 ・ 今後5年間で必要となるアクションプランとして整理、実行していきます。 ・ 短期については、5年間の進め方や実施主体等についても明確に示しています。
中期 (5～7年後)	・ 新型コロナウイルス感染拡大の影響も考慮しつつ、現時点で想定できる未来を鑑みて、展開すべき施策を示しています。 ・ 施策を展開するために、時間を要するもの、また、短期的な取組を踏まえて段階的に取り組む必要があるものを示しています。
長期 (7～10年後)	・ 新型コロナウイルス感染拡大の影響も考慮しつつ、現時点で想定できる未来を鑑みて、展開すべき施策を示しています。 ・ 本計画年度終了後も、継続的に、かつ長期的な視野で段階的に取り組むべき施策を示しています。

<実施主体>

行政	防府市 地域交流部おもてなし観光課、関係各課、県など	…行
観光関連事業者	(一社)防府観光コンベンション協会、防府商工会議所など	…観
民間事業者・民間団体	観光施設・物販・飲食・宿泊・交通運輸事業者、スポーツ協会、文化協会、農協、漁協など	…民
住民	市民及び自治会、市民団体など	…住

※凡例(P23～P24、P27～P28、P31～P32、P35～P36 の各記号)

★:第5次防府市総合計画の重点プロジェクトに掲載のある取組

◎:主体的に実施する

(観光商品等の開発や、イベントの企画運営、設備・施設の整備、人材育成の仕組み構築・運営など)

○:協力的に実施する

(来訪者受け入れ、イベント等への参加や資金面での協力、設備・施設の維持・管理など)

●:各取組の該当する項目(「振興」欄の「地域振興」と「観光振興」の考え方は P1 を、「三本の矢」欄の「観光地」「食」「おもてなし」の考え方は P19 をそれぞれ参照)

3 具体的な取組内容

現状認識



自然

本市は、山・海・川・平野が織りなす自然が豊かです。大平山で咲くツツジには、毎年多くの観光客が訪れており、右田ヶ岳は山頂から防府の街や海を見下ろすことができ、美しい眺望が楽しめます。

また、富海や野島での釣りも楽しむことができるほか、富海海水浴場は瀬戸内海らしく遠浅で泳ぎやすい海として親しまれています。佐波川では、鮎釣り等ができるほか、毎年鯉流し・こいわたしが開催されており人気のイベントです。

特徴として、これらの資源は比較的「街に近い距離」にあることから、容易に本格的な自然に触れ、さらに市街地に戻って食事や観光施設等も観光できる余裕のある楽しみ方ができ、観光客にとっては自然を旅行に組み込みやすい利点があります。しかし、観光客に向けたリアルタイムの情報が少ないことや、自然を活かしたアクティビティや体験コンテンツの提供が少ないこと等、十分に観光資源として活用されていないことが課題となっています。

将来イメージ

山・海・川・平野などの多様な自然のフィールドがもつ四季折々の美しさが認知され、観光客及び市民が訪れやすい環境が整っています。また、「街から近い自然」という強みを活かして、安全・安心で気軽に自然を楽しむことができる体験型観光が展開され、地域交流を増加させ、地域内での滞在を延伸させ、宿泊客数が増加し、「自然」を軸とした地域経済の活性化が図られています。



ロードマップ

<実現するイメージ>

<主な施策>

短期（1～5年後）

自然を楽しめる空間の整備と認知度向上

- ◆多様な人が安心して観光を楽しむような受入環境が整備されている。
- ◆本市の美しい自然のイメージや価値が観光客や市民に認知されている。
- ◆観光資源として特に周辺地域と差別化できる山（大平山・右田ヶ岳）と野島を活かした観光誘客ができています。

地域振興

- ・トイレや駐車場、休憩施設、案内板等の受入環境の整備

観光振興

- ・既存のイベントや四季ごとの見どころ等のきめ細かな情報発信
- ・大平山や右田ヶ岳をフィールドにした「まちなか登山」の推進
- ・富海や野島における海を活かした観光の推進
- ・佐波川でのアウトドア体験の発信
- ・食の体験の売り込みや情報発信

中期（5～7年後）

体験型観光による滞在の浸透、交流人口の増加

- ◆地域資源を活かした多様な観光コンテンツ（体験活動・ツアー・イベント等）が開発・提供され、自然を求めて滞在する観光客が増加している。
- ◆交流人口が増加し、ファンが増加している。

地域振興

- ・空き家を活用した飲食施設・物販施設等の整備等の検討
- ・自然保護の普及啓発

観光振興

- ・自然環境を中心とした学習・体験活動
- ・佐波川の「鯉流し・こいわたし」における食のおもてなし機能や体験機能の導入検討
- ・「（仮称）防府ライフスタイル」認定制度の導入

長期（7～10年後）

高品質化・長期滞在の実現

- ◆自然を活かした観光が持続的に展開され、地域経済が活性化している。
- ◆より特別・高品質なコンテンツ提供やブランディングにより、宿泊を伴う滞在や外国人観光客の獲得につながっている。

地域振興

- ・空き家を活用した宿泊施設の整備等
- ・訪日外国人へのおもてなしガイド等の人材確保・育成

観光振興

- ・付加価値の高いコンテンツ造成
- ・新産業、特産品等のブランド開発・販売
- ・訪日外国人観光客の来訪状況に応じて、適切な外国語を用いた解説・紹介

今後5年間の取組

①山・川・田園風景に着目した「体験型」観光の推進

NO.	取組内容
1	★観光用公衆トイレの整備や清掃の徹底
2	★景観に配慮した案内板等の整備
3	地元自治会などの関係団体と連携した自然環境の維持管理
4	四季ごとの眺望や景色のリアルタイムでの発信
5	モデル周遊プランづくりとツアー情報の発信
6	★「まちなか登山」をキーワードにした大平山や右田ヶ岳等への登山誘客
7	佐波川でのカヌーやキャンプ、バーベキューなどのアウトドア体験の発信
8	★右田、小野、大道地区等の田園風景などに着目したトレッキングやサイクリングの実施と発信
9	食材生産者等との連携や協力による収穫体験や調理体験の実施及び発信
10	「旬の食材冊子」を作成し、観光客や市民等へ配布

大平山や右田ヶ岳といった山や、一級河川佐波川、小野地区などの田園風景など、市民に身近な山・川・田園風景を生かした「体験型」の観光メニューを充実させ、観光客の誘客を図ります。

NO.	振興		3本の矢			実施主体				5年間の進め方				
	地域	観光	観	食	お	行	観	民	住	2021	2022	2023	2024	2025
1	●		●			◎	○	○	○	実施				
2	●		●			◎				計画				
3	●		●			○	○	○	◎	調整				
4		●			●	○	◎			毎年度収集→情報発信				
5		●			●	○	◎	○		企画				
6		●			●	◎	◎	○		企画				
7		●			●	◎	◎	○		実施				
8		●			●	○	○	◎		企画				
9		●		●		◎	○	◎		調整				
10		●		●		◎	◎	○		作成→配布→内容更新→配布				



②「海」をキーワードにした観光の推進

NO.	取組内容
1	海辺を中心とした清掃等の環境保全活動の実施
2	★観光用公衆トイレの整備や清掃の徹底(再掲)
3	★富海海水浴場や野島における案内看板等の整備
4	★野島海運予備船「レインボー のしま」を活かした近海クルーズの実施
5	★海水浴や海洋レジャー、釣りや海の家など「瀬戸内海体験」の発信
6	高級料理「天神鰻(ハモ)」の旅行商品への組み込みによる認知度の向上
7	★初夏の鰻や夏の虎魚(オコゼ)、冬の河豚(フグ)など瀬戸内海ならではの食体験を組み込んだ旅行商品の企画及び販売支援
8	「旬の食材冊子」を作成し、観光客や市民等へ配布(再掲)

海に面している本市の環境を生かし、海をキーワードにした観光コンテンツや受入環境を整え、癒しやすらぎの時間を求める観光客にとって満足度の高いフィールドや非日常の感動体験を提供します。

NO.	振興		3本の矢			実施主体				5年間の進め方				
	地域	観光	観	食	お	行	観	民	住	2021	2022	2023	2024	2025
1	●		●			◎	○	○	◎	調整→実施				
2	●		●			◎	○	○	○	実施				
3	●		●			◎				計画				
4		●			●	○	◎	○		企画				
5		●			●	○	◎	○		企画				
6		●		●		○	◎			調整				
7		●		●		○	◎	○		企画				
8		●		●		◎	◎	○		作成→配布→内容更新→配布				



③観光客や市民に資源の魅力や価値を最大限に伝えるプロモーションの推進

NO.	取組内容
1	身近な自然が気軽に楽しめることを市民や県民に向けて宣伝
2	★テレビ・新聞・ラジオなど既存のマスメディアを十分に活用した情報発信
3	★インターネット時代に適した動画等の多用や SNS などの発信頻度の強化
4	★近隣県の旅行会社等に旅行商品への観光地組み込みを依頼
5	賑わいを創出する団体等への継続的な支援や、協定締結都市等との連携、並びに各種メディアへの露出協力
6	道の駅潮彩市場防府におけるおすすめ旬魚情報の発信
7	★新型コロナウイルス感染症の収束を見据えたインバウンドやクルーズ船の誘致

既存の資源を掘り起こし見える化すること、そしてそれを分かりやすく観光客や市民に対して発信することにより、自然の魅力や価値を周知し来訪につなげます。

NO.	振興		3本の矢			実施主体				5年間の進め方				
	地域	観光	観	食	お	行	観	民	住	2021	2022	2023	2024	2025
1	●				●	◎	○	○	○	実施				
2	●				●	◎				発信				
3	●				●	○	○	○	◎	発信				
4		●			●	○	◎			実施				
5		●			●	○	◎	○		継続的な支援・連携の実施				
6		●		●		◎	◎	○		発信				
7		●			●	◎	◎	○		実施				



現状認識



防府天満宮、周防国分寺、旧毛利家本邸・毛利氏庭園、東大寺別院阿弥陀寺、玉祖神社など、誇るべき歴史的な建造物や史跡等が豊富で、各地に点在しています。

中でも、防府天満宮は本市の中で最も観光客が訪れる観光地で、毎年多くの参拝客が訪れている一方で、その他の施設への来訪者数は少ない状況です。

今後は、防府天満宮の参拝目的の観光のみならず、防府天満宮から旧毛利家本邸や周防国分寺などその他の歴史資源へ誘導し、点から面に広げ、歴史のまちとしてのイメージを確立していくことや、地域一体となった歴史観光の推進が求められています。

将来イメージ

本市の豊かな歴史が守り受け継がれながら、その資源やストーリーが観光に活用され、歴史のまち防府のイメージが観光客に認知されており、市民にとっての誇りとなっています。

「すごいな！すごいぞ！防府」4つの観光拠点(防府天満宮や周防国分寺、毛利氏庭園、東大寺別院阿弥陀寺)を中心とする歴史コアゾーンでは、資源の認知度が高まり、歴史をめぐるまち歩きや、歴史・文化を体感する体験コンテンツが充実し、観光客が楽しめるコア機能が確立されています。さらにそれが本市全域に展開し、市内の観光地の周遊につながるほか、山口市や周南市など周辺地域との相互連携による観光誘客を実現しています。



ロードマップ

<実現するイメージ>

<主な施策>

短期(1～5年後)

まち歩きしたくなる 歴史コアゾーンの形成

- ◆歴史コアゾーンが確立され、防府天満宮だけでなく、周防国分寺や旧毛利家本邸などへの回遊性が向上している。
- ◆歴史まち歩きを楽しみ、飲食施設や休憩施設でゆっくりと滞在したくなる空間づくりができています。

地域振興

- ・トイレや駐車場、休憩施設、案内板等の受入環境の整備

観光振興

- ・歴史と親和性の高い体験の充実
- ・飲食機能の充実
- ・メディアを活用した戦略的な情報発信
- ・イベントの実施
- ・認定歴食への申請や、歴史をテーマにした食の再商品化
- ・旅行会社への企画商品の売り込み
- ・広域連携によるプログラム造成やPR

中期(5～7年後)

多様な資源をストーリーで つなぎ、周遊したくなる 歴史観光の確立

- ◆歴史コアゾーンを含む本市全域においても、観光客が周遊している。

地域振興

- ・利用者ニーズに応じたレンタサイクルサービスの改善・サイクルスポットの整備

観光振興

- ・メディアを活用した戦略的な情報発信
- ・モデル周遊プランの提案
- ・ICT(AR/VR)、プロジェクションマッピングなどを活用した多彩な歴史の楽しみ方の提供
- ・「(仮称)防府ライフスタイル」認定制度の導入
- ・周防国衙跡の発掘成果の発表や現場解説の実施

長期(7～10年後)

広域連携による歴史観光の 魅力向上と、集客力の強化

- ◆周辺地域も含む広域連携が進み、相互に誘客が図られ、集客力が高まっている。

地域振興

- ・広域での交通アクセスの見直し

観光振興

- ・広域連携による観光コンテンツの提供
- ・外国人観光客の来訪状況に応じ、適切な外国語を用いた解説・紹介

今後5年間の取組

①防府天満宮と周辺の参道等の回遊性向上

NO.	取組内容
1	★観光用公衆トイレの整備や清掃の徹底(再掲)
2	★景観に配慮した案内板等の整備(再掲)
3	参道の街並みや景観の美化
4	駐車場台数を確保するための駐車場シェアリングシステムの普及促進
5	★高齢化やまち歩きに対応したベンチや日よけなど休憩場所の増設(幸せますステーションを含む)
6	着物の着付けや歴史ガイドツアー等「体験型観光」の推進
7	観光客の喜ぶストーリーのあるモデル周遊プランづくりとツアー情報の発信(再掲)
8	食べ歩きメニューや、歴史をモチーフにしたメニューの開発と観光客等への提供
9	四季ごとの眺望やSNSで映える景観の発信
10	伝統の祭り等(花神子社参式や腰輪おどりなど)を地域の魅力と一緒に発信

②防府天満宮から旧毛利家本邸など周辺施設への誘客

NO.	取組内容
1	★景観に配慮した案内板等の整備(再掲)
2	レンタサイクルサービスの充実
3	駐車場台数を確保するため駐車場シェアリングシステムの普及促進(再掲)
4	★観光地や駐車場の位置が一目で分かる観光看板の設置や地図システムへの登録
5	★毛利元就没後450年や重源上人生誕900年の歴史的節目を活かした観光発信
6	文化芸術団体(茶道・華道・書道・舞踊など)へ、旧毛利家本邸等を大会会場として紹介
7	★防府天満宮を含む「すごいな！すごいぞ！防府」4観光施設のほか、その他観光施設を活かしたイベント等の実施
8	歴史ファンを取り込むためのストーリーのある各種イベントの実施(サブカルチャーを含む)
9	専門家等を招へいした歴史講演等の実施
10	★テレビ・新聞・ラジオなど既存のマスメディアを十分に活用した情報発信(再掲)
11	★インターネット時代に適応した動画等の多用や SNS などの発信頻度の強化(再掲)
12	★近隣県の旅行会社等に旅行商品への観光地組み込みを依頼(再掲)
13	明治維新 150 年事業で商品化した「日英饗応料理」の再商品化やストーリーの再構築
14	「日英饗応料理」などの認定歴食への申請
15	★観光ボランティアガイドや通訳案内士、庭園ガイドなどの「おもてなし」人材の育成
16	★新型コロナウイルス感染症の収束を見据えたインバウンドやクルーズ船の誘致(再掲)

③広域連携

NO.	取組内容
1	雪舟・大内文化の PR(山口市の県立美術館、本市の毛利博物館)
2	★山口ゆめ回廊博覧会を契機とし、県央部の市町と連携した広域観光プログラムの造成と発信
3	毛利氏庭園の庭園間交流連携促進計画(通称:ガーデンツーリズム)への登録を生かして、雪舟ゆかりの自治体と連携した広域での情報発信
4	賑わいを創出する団体等への継続的な支援や、協定締結都市等との連携、並びに各種メディアへの露出協力(再掲)

観光客が最も訪れている「防府天満宮」及びその参道一帯の魅力を向上し、「歩きたくなる」空間づくりを行います。

NO.	振興		3本の矢			実施主体				5 年間の進め方				
	地域	観光	観	食	お	行	観	民	住	2021	2022	2023	2024	2025
1	●		●			◎	○	○	○					
2	●		●			◎				計画				
3	●		●			○	○	○	◎					
4	●		●			○	◎			検討・構築				
5	●		●			○	◎	○		計画				
6		●			●	◎	◎	○						
7		●			●	◎	◎	○		企画				
8		●		●		○	○	◎		検討				
9		●			●	◎	○	◎						
10		●			●	◎	◎	○						



防府天満宮参拝後にすぐに帰らせることのないよう、旧毛利家本邸をはじめとする第2・第3の立ち寄りスポットに誘導し、周遊を促します。

NO.	振興		3本の矢			実施主体				5 年間の進め方				
	地域	観光	観	食	お	行	観	民	住	2021	2022	2023	2024	2025
1	●		●			◎	○			計画				
2	●		●			○	◎			検討				
3	●		●			◎	◎	○		検討・構築				
4	●		●			◎	○			検討				
5		●			●	◎	◎	○						
6		●			●	○	◎	◎						
7		●			●	○	◎	◎						
8		●			●	○	◎	○		検討				
9		●			●	◎	○	○						
10		●			●	◎	◎	○						
11		●			●	○	◎	○						
12		●			●	◎	◎	○						
13		●		●		○	◎	◎		調整				
14		●		●		○	◎	○						
15		●			●	○	◎	○	○					
16		●			●	◎	◎	○						

◆参考
「歴食」とは、日本全国の「歴史的なストーリー」を有した、価値ある食」と定義された、食の認定制度です。文献などをもとに当時の味を再現したもの、またインスパイアされたメニューを「歴食」として登録し、発信しています。



【出典:歴食 JAPAN HP】

本市単独ではできない広域連携によるストーリーを構築・発信し、さらなる魅力向上と誘客を図ります。

NO.	振興		3本の矢			実施主体				5 年間の進め方				
	地域	観光	観	食	お	行	観	民	住	2021	2022	2023	2024	2025
1		●			●	◎	○	○						
2		●			●	◎	○	○						
3		●			●	◎	○	○						
4		●			●	○	◎	○						



現状認識



スポーツ

防府読売マラソン大会は本市における一大スポーツイベントであり、多くの参加者や見物客を集めています。しかし、その経済波及効果は少なく、恩恵を効果的に受けることができていないのが現状です。

スポーツゾーン(ソルトアリーナ防府を核としたエリア)やサイクリングターミナルなど、本市のスポーツに関する受入環境は充実しており、他地域との差別化を図ることができる可能性をもつ資源となっています。

近年、スポーツが持つ機能として、「観る」「する」機能に加えて、スポーツを通じた交流人口拡大や、地域活性化の意味合いを持つ「支える」機能も注目されています。また、本格的なスポーツ(プレイ)から、気晴らしや遊び、楽しみ、休養といった要素も強くなり、身体的・精神的・社会的な観点からも見直されています。

新型コロナウイルス感染拡大の影響で、屋外での活動が注目され、外でのアクティビティへの興味・関心が高くなっているとともに、本市は東京オリンピックの女子バレーボールに出場するセルビアチームのホストタウンになっていることから、今後、スポーツへの注目が高まることが推測されます。

将来イメージ

本市において、スポーツが秘めた力で社会的又は経済的な効果を高め、既存施設をはじめ、山や海などの恵まれた自然環境の中だけでなく、まちなかや公園などで、自然と体を動かしてしまう「楽しいまち」を形成していきます。そして、スポーツをきっかけとし、各地域が持つ多様な社会課題を解決し、地域経済の活性化を図ることを実現しています。



ロードマップ

<実現するイメージ>

<主な施策>

短期(1～5年後)

スポーツのまちとしての認知度向上

- ◆プロスポーツをはじめ、スポーツや学習等を含めた合宿地としての拠点イメージの構築
～「PLAY」することができる防府のイメージ～
- ◆本市と関連する各種スポーツのイメージの認知
～「PLAY」することができる、そして「ENJOY」することができる防府のイメージ～

地域振興

- ・各種スポーツの情報発信
- ・各種スポーツの実施機会の創出(スポーツ施設等の利用促進、イベント開催など)

観光振興

- ・近隣市町等への情報発信
- ・合宿地としての売り込み
- ・トップアスリートとの交流イベント
- ・スポーツイベントに合わせた食の出店
- ・セルビア女子バレーボールチームのホストタウンとしての露出拡大

中期(5～7年後)

スポーツを介した楽しみにあふれる場の創出

- ◆本市の地域特性を生かし、スポーツを介して、本市の魅力を知り、満足度の高い滞在の促進
～「ENJOY」できるまちの実現～
- ◆市民やプロスポーツ等のファンが本市のスポーツを応援・支援
～「支える」基盤の構築～

地域振興

- ・各種スポーツ施設等の環境の整備(スポーツゾーン、競輪場等)
- ・スポーツボランティアの構築
- ・スポーツツーリズムのプラットフォーム構築の検討

観光振興

- ・合宿地としての環境の整備
- ・他分野と連携した新たなスポーツイベントの開催
- ・情報発信等によるスポーツボランティアやファンづくり

長期(7～10年後)

スポーツまちづくりの実現

- ◆上記の状況が持続的に推進されており、スポーツを楽しみ、自然と体を動かし、健康面・精神面・社会面において、充実した生活を実現
- ◆スポーツへの企業参入や各スポーツにおいて、様々な事業が生まれ、地域経済の活性化を実現

地域振興

- ・スポーツツーリズムのプラットフォームの構築
- ・他分野との連携による新たな事業展開(スポーツビジネス化)

観光振興

- ・最先端テクノロジーを活用した新たなスポーツ観戦、実施の創造
- ・広域連携等によるスポーツの活性化

今後5年間での取組

①「自転車」に着目したスポーツの推進

NO.	取組内容
1	観光資源として来場者が楽しめる機能をもつ競輪場の整備
2	市内の道路の再点検と、スポーツに適した路面等の検討
3	トップアスリートとの交流イベントの実施
4	★サイクリングターミナルを拠点とし、佐波川自転車道を利用したサイクリングコースやトレッキングコースの設定とコース冊子の作成
5	★サイクリングターミナルを拠点とした自転車クリニック等の実施
6	競輪場の空間活用と情報発信

「競輪」や「サイクリング」をテーマとして、効果的な空間の活用や情報発信を進めるなど、サイクルツーリズムによる観光を推進します。

NO.	振興		3本の矢			実施主体				5年間の進め方				
	地域	観光	観	食	お	行	観	民	住	2021	2022	2023	2024	2025
1	●		●			◎				検討・調整			整備	
2	●		●			◎				再点検と整備の検討				
3		●	●			○	○	◎		実施				
4		●			●	◎	◎	○		検討			冊子作成・発信	
5		●			●	○	◎	◎		実施				
6		●			●	◎	○			検討・調整			整備→活用・発信	

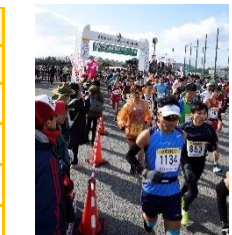


②防府読売マラソン大会の認知度と魅力の向上

NO.	取組内容
1	市内の道路の再点検と、スポーツに適した路面等の検討(再掲)
2	トップアスリートやスポーツ著名人との交流イベントの実施(再掲)
3	情報発信による集客力の向上
4	防府読売マラソン大会の開催にあわせた出店等による飲食機能の充実

本市におけるスポーツの一大イベントである「防府読売マラソン大会」の集客力を高めます。

NO.	振興		3本の矢			実施主体				5年間の進め方				
	地域	観光	観	食	お	行	観	民	住	2021	2022	2023	2024	2025
1	●		●			◎				再点検と整備の検討				
2		●	●			○	◎	◎		実施				
3		●			●	◎	◎	○		発信				
4		●		●		○	◎	◎		調整・連携→実施				

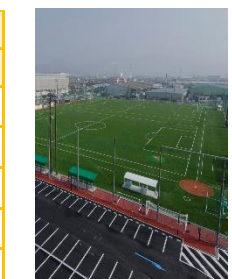


③施設の効果的な活用

NO.	取組内容
1	★観光用公衆トイレの整備や清掃の徹底(再掲)
2	駐車場台数を確保するため駐車場シェアリングシステムの普及促進(再掲)
3	スポーツゾーンに適した周辺インフラ等の検討
4	ソルトアリーナ防府を中心としたスポーツゾーンの近隣市町への売り込み
5	学生や実業団などへのスポーツ合宿等の誘致

既存のスポーツ関連施設の活用を促進できるよう、環境を整備し、積極的に売り込みます。

NO.	振興		3本の矢			実施主体				5年間の進め方				
	地域	観光	観	食	お	行	観	民	住	2021	2022	2023	2024	2025
1	●		●			◎	○	○	○	実施				
2	●		●			◎	◎	○		検討・構築			運用・普及	
3	●		●			◎				検討				
4		●			●	◎	◎	○		実施				
5		●			●	◎	◎	○		実施				



④プロモーションの推進

NO.	取組内容
1	レノファ山口 U-18など市内で活動するプロ等の情報の発信
2	★テレビ・新聞・ラジオなど既存のマスメディアを十分に活用した情報発信(再掲)
3	★インターネット時代に適応した動画の多用やSNSなどの発信頻度の増強(再掲)
4	販わいを創出する団体等への継続的な支援や、協定締結都市等との連携、並びに各種メディアへの露出協力(再掲)
5	オリンピックイヤー等の国際イベントを活用した販わい創出
6	セルビア女子バレーボールチームのホストタウンとしての露出拡大
7	★新型コロナウイルス感染症の収束を見据えたインバウンドやクルーズ船の誘致(再掲)

市内のスポーツに関する魅力を効果的に発信し、誘客につなげます。

NO.	振興		3本の矢			実施主体				5年間の進め方				
	地域	観光	観	食	お	行	観	民	住	2021	2022	2023	2024	2025
1		●			●	○	◎	○		発信				
2		●			●	◎	◎	○		発信				
3		●			●	○	◎	○		発信				
4		●			●	○	◎	○		継続的な支援・連携の実施				
5		●			●	○	◎	○		実施				
6		●			●	◎	○	○		実施				
7		●			●	◎	○	○		実施				



現状認識



茶道や鋳物文化等の古くから伝わる伝統文化、天神鰻や、練りもの等の水産加工品、しょうゆやみそなどの醸造食品といった食文化、防府音楽祭や市民文化祭等の芸術など、市民の暮らしのなかに根付く多彩な活動を通じて培われた文化的資源が数多く存在しています。

これらは本市ならではの、地域性の高い資源である一方で、観光として生かしてこなかった資源や、観光資源としての発信が弱く誘客において発展途上の資源もあります。これらの資源を、観光資源として効果的に活用していくことで、さらなる文化振興及び交流拡大につながり、豊かな感性が育まれるまちになることが期待できます。

将来イメージ

市内の多彩な文化的かつ生活的資源を観光客に訴求できる資源として磨き、発信され、「観光資源」として積極的に活用されて、観光客はこれらの生活文化に触れたいとなり、本市への来訪で気軽に触れ、生活文化を通じた交流が活発に行われています。これにより、若者から高齢者まで誰もが生活文化を楽しみ、多様な生活文化活動が展開され誇りにつながるとともに、生活文化を通じたおもてなしにも積極的に参画し活躍している状態を実現します。



ロードマップ

<実現するイメージ>

<主な施策>

短期(1～5年後)

文化的な資源の認知度向上

- ◆個々に点在する資源の収集と掘り起こし
- ◆各資源の価値の再認識・共有化

地域振興

- ・ 市民と観光客が資源の魅力・価値を再発見する「観光プラットフォーム」の開発

観光振興

- ・ 市民と観光客が資源の魅力・価値を再発見する「観光プラットフォーム」の開発
- ・ 「(仮称)防府ライフスタイル」認定制度の導入
- ・ 地元の伝統文化の収集と発信
- ・ 地域に眠る食文化の発掘と商品化
- ・ おもてなし人材の掘り起こしと育成

中期(5～7年後)

磨き上げ・観光資源化

- ◆観光コンテンツとして商品化、PRし、観光客を誘客
- ◆利益の好循環、成功事例を創出

地域振興

- ・ 認定された「(仮称)防府ライフスタイル」の後世への継承活動

観光振興

- ・ 各資源の観光コンテンツとしての磨き上げ
- ・ 観光資源化プロモーションの支援
- ・ 観光プラットフォームによる地域資源情報の継続発信
- ・ おもてなし人材の掘り起こしと育成

長期(7～10年後)

市民や観光客へ滞在コンテンツとして持続的・継続的に提供

- ◆文化的な資源を切り口として、通年でバラエティーに富んだ観光コンテンツ提供の実現
- ◆若者から高齢者まで活躍、チャレンジしやすい風土を醸成

地域振興

- ・ 市民の連携を生み出す異業種交流会等の開催

観光振興

- ・ おもてなし人材の掘り起こしと育成
- ・ 自走可能で継続的なコンテンツ提供に向けた各主体への支援
- ・ 通年で安定的なコンテンツ提供
- ・ 成功事例の積極的な発信等により、新たな参画主体の募集
- ・ 観光プラットフォームによる地域資源情報の継続発信
- ・ 「(仮称)防府ライフスタイル」認定制度の継続

今後5年間の取組

①地域資源の観光への活用

NO.	取組内容
1	★観光ボランティアガイドや通訳案内士、庭園ガイドなどの「おもてなし」人材の育成(再掲)
2	新春の一大文化イベントである「防府音楽祭」の情報発信の強化
3	文化芸術団体(茶道、華道、書道、舞踊など)へ、旧毛利家本邸等を大会会場として紹介(再掲)
4	映画館を活用したイベントの開催
5	★観光と文化に貢献する山頭火ふるさと館の運営
6	★山頭火ふるさと館の施設改善
7	文化財発掘や文献研究等の成果発表や、注目すべき成果の各種メディアを使った発信
8	華道や鋳物文化などの地域の伝統文化の収集と発信
9	賑わいを創出する団体等への継続的な支援や、協定締結都市等との連携、並びに各種メディアへの露出協力(再掲)
10	地域に眠る食文化の発掘と商品化
11	★市民総参加で盛り上がる防府おどりや「幸せますフェスタ」の開催
12	市南部の工業地帯や三田尻塩田記念産業公園を活かした産業観光の推進

これまでに観光に十分に活用されてこなかった文化的資源をさらに観光に活用できる資源として価値を見直し、磨き上げます。

NO.	振興		3本の矢			実施主体				5年間の進め方				
	地域	観光	観	食	お	行	観	民	住	2021	2022	2023	2024	2025
1		●			●	○	◎	○	○	実施				
2		●			●	◎	○	◎		実施				
3		●			●	○	◎	◎		発信				
4		●			●	○	◎	◎		企画・調整→実施				
5		●			●	◎	○			実施				
6	●		●			◎				検討→実施				
7		●			●	◎	○	○		発信				
8		●			●	◎	◎	○		収集→発信				
9		●			●	○	◎	○		継続的な支援・連携の実施				
10		●		●		◎	◎	○	○	調査・検討→実施				
11		●			●	○	◎	○	○	企画・調整→実施				
12		●			●	◎	◎	○		企画・調整→実施				



②地域資源のプロモーション・市民への普及

NO.	取組内容
1	市民と観光客が資源の魅力・価値を再発見する「観光プラットフォーム」の開発
2	★テレビ・新聞・ラジオなどの既存のマスメディアを十分活用した情報発信(再掲)
3	★インターネット時代に適応した動画等の多用や SNS などの発信頻度の強化(再掲)
4	★防府「逸品食」に関する企画立案と新たな食文化の観光への取り込み
5	「(仮称)防府ライフスタイル」認定に関する制度設計や防府市観光振興推進協議会等との連携による候補の選定
6	「(仮称)防府ライフスタイル」の後世への継承活動
7	★新型コロナウイルス感染症の収束を見据えたインバウンドやクルーズ船の誘致(再掲)

文化的資源の存在や、その魅力を、観光客や市民に分かりやすく発信します。

NO.	振興		3本の矢			実施主体				5年間の進め方				
	地域	観光	観	食	お	行	観	民	住	2021	2022	2023	2024	2025
1	●	●			●	○	◎	○		実施				
2		●			●	◎	◎	○		発信				
3		●			●	○	◎	○		発信				
4		●		●		◎	◎	○		企画立案		実施		
5	●	●			●	◎	○	○		制度設計		実施		
6	●	●			●	◎	○	○	○			実施		
7		●			●	◎	○	○		実施				

